

令和 7 年度

中国四国農政局所管農業農村整備事業等

優良工事等

農村振興局長表彰

中国四国農政局長表彰

概要

令和 7 年 12 月

中国四国農政局

農村振興局長表彰

【優良業務】

株式会社三祐コンサルタンツ 岡山支店 · · · · 1

国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業

道前道後用水地区面河ダム他付帯設備耐震照査業務

中国四国農政局長表彰

【優良工事】

株式会社熊谷組 中四国支店 2

道前道後用水農業水利事業

志河川ダム貯水池法対策（その1）工事

道前平野農地整備事業

北条新田排水機場建屋建築工事

兒島灣沿岸農地防災事業

締切堤防（福島工区）その4 工事

誠建設有限会社 5

那賀川（二期）農地防災事業

上三村分水施設整備工事

国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業

(勝英地区) 西原ダム取水ゲート改修工事

【優良業務】

N T C コンサルタンツ株式会社 中国四国支社 · · · · 7

国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業

(勝英地区) 西原ダム技術検討他業務

内外エンジニアリング株式会社 · · · · · · · · · 8

吉井川農業水利事業

新田原井堰上流施設他実施設計業務

株式会社チェリーコンサルタント · · · · · · · · 9

道前平野農地整備事業

古田団地区画割設計その他業務

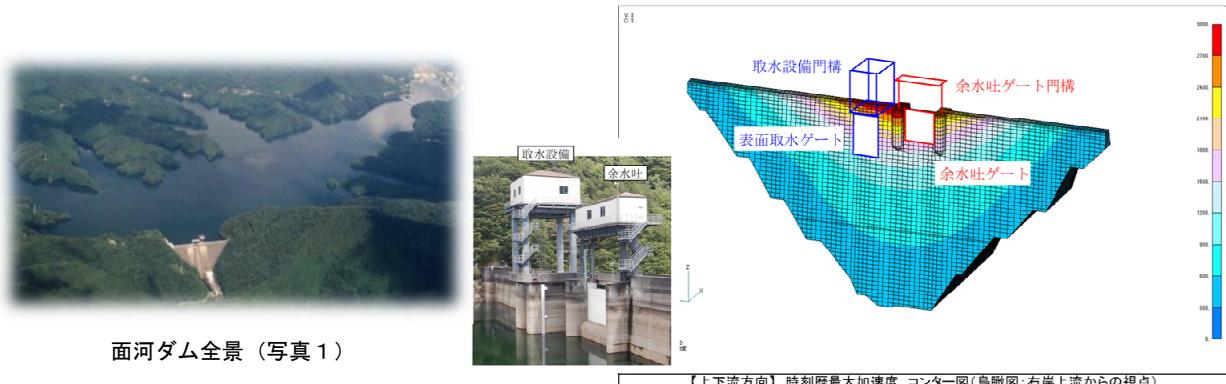
【地域貢献活動】

佐々木建設株式会社 · · · · · · · · · · · · · · 10

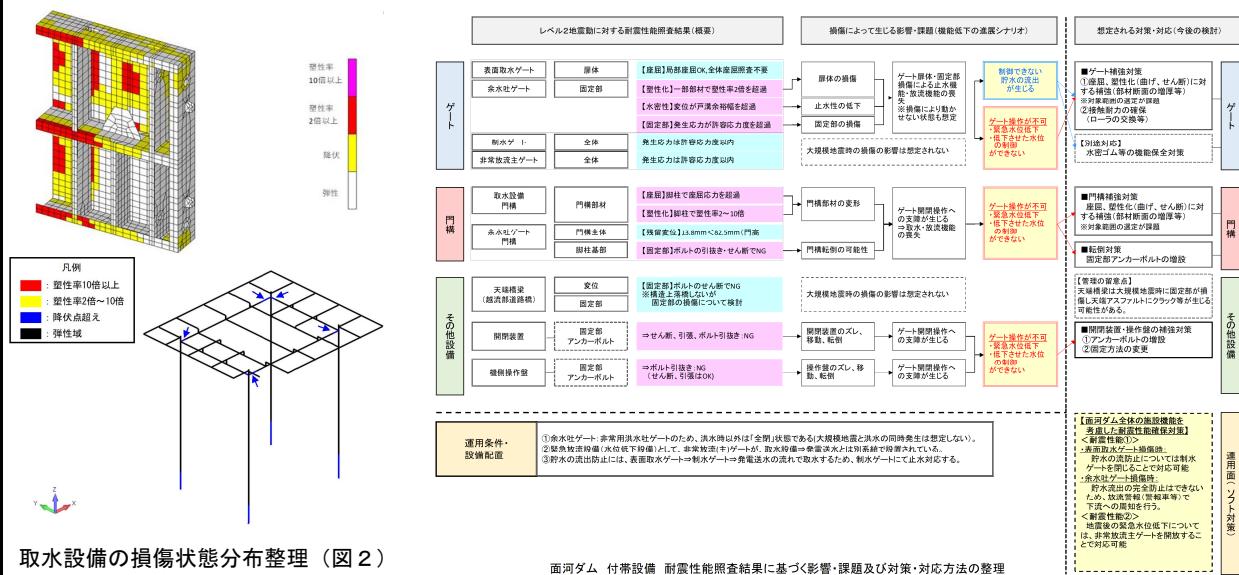
【業務】

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業	表彰の理由
業務名	道前道後用水地区面河ダム付帯設備耐震照査業務	本施設は新旧の設備が混在して稼働している状況のため、照査対象施設のスクリーニング（対象施設の選定、照査手法の検討）として、既存資料の有無を把握したうえで、耐震性能（①設備の損傷による貯水流出の有無、②設備損傷後の緊急水位制御の可否、③利水機能の維持）を踏まえ、一覧表で簡潔に根拠や判断基準を整理した。
実施場所	愛媛県上浮穴郡久万高原町笠方地内他	また、個別のダム付帯設備に作用するそれぞれの地震動の精度向上のため、解析に先立ち、ダム全体の3次元モデルを構築（図1）した後に、対象設備それぞれの位置で発生する加速度を算定し、各設備の3次元動的解析を実施することで正確な施設照査を実施するとともに、その耐震性能照査結果を分かり易く示すために、「損傷状態を視覚的に示す図」（図2）や「施設全体の損傷状態と損傷程度を示す一覧表」に統括して整理した。
業務の概要		
受注者	（株）三祐コンサルタンツ 岡山支店	
契約額	55,660千円（税込）	
工期	令和6年9月3日～令和7年3月26日	
国営道前道後平野農業水利事業により造成された面河ダム、横谷調整池、通谷調整池の取水設備等の付帯設備について耐震性能照査を行ったもの。		
対象施設	作業項目	数量
面河ダム	1.準備作業	1式
	2.堤体全体の3次元解析	1式
	3.堤体ゲート設備 耐震性能照査	1式
	4.門構部、越流部道路橋 耐震性能照査	1式
	5.建築構造物 耐震性能照査	1式
	6.操作管理設備 耐震性能照査	1式
	7.照査・点検とりまとめ	1式
横谷調整池	1.準備作業	1式
	2.取水設備及び土砂吐 耐震性能照査	1式
	3.照査・点検とりまとめ	1式
通谷調整池	1.準備作業	1式
	2.取水設備及び土砂吐 耐震性能照査	1式
	3.照査・点検とりまとめ	1式

実施状況等



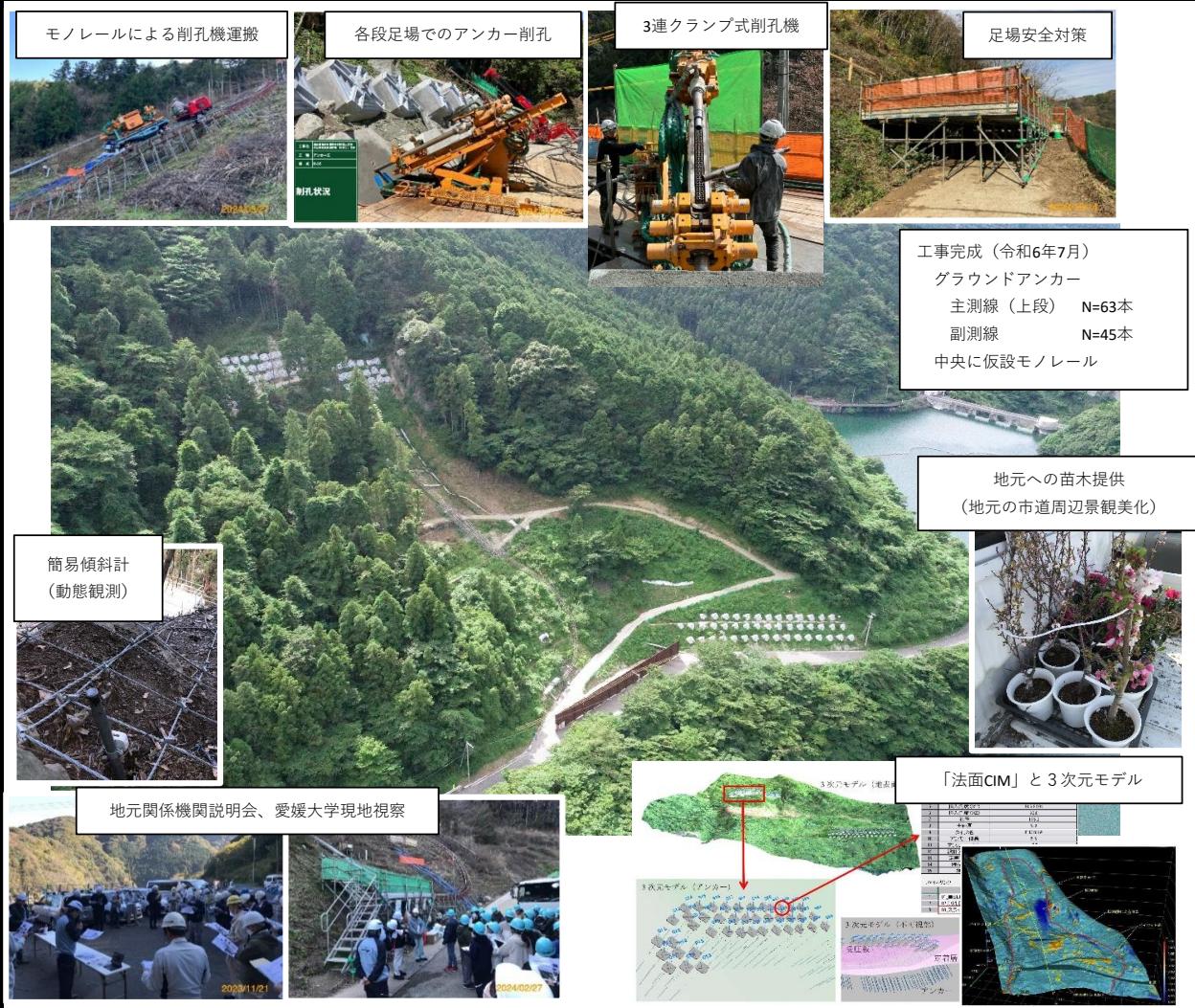
堤体の全体3次元モデルによる動的解析（図1）



【工事】

事業名	道前道後用水農業水利事業	表彰の理由
工事名	志河川ダム貯水池法面対策（その1）工事	1. 貯水池法面対策の最初の工事で、地すべり対策法面の最上部の上段対策を実施。当該斜面は表層崩壊後の急峻な斜面が形成されているが、地すべり滑動への影響を考慮し、現況地形をあまり改変しない条件でグラウンドアンカーによる対策工の実施となつた。このため、モノレールによる各段足場へのアクセスなど、制約条件の多い現地状況のなか、高所掘削機による斜面整形の提案など、効率的な作業の実施、確実な工程の進捗が図られた。
実施場所	愛媛県西条市丹原町楠窪地内	2. 伐採後に落石が懸念される巨石が確認され、落石対策工や地山整形工などの追加が必要になったが、本体対策工の工程に影響を及ぼさないよう、円滑な工程調整が行われたとともにモバイル端末から動態確認できる簡易傾斜計を導入し安全管理の高度化が図られた。
工事の概要		
受注者	(株)熊谷組 中四国支店	3. 急傾斜地に設置した各段足場による施工となるため、転落、落下対策として、確実な手すり、中さん、の設置のほか、副測線側は直下の市道に隣接することから、周囲に防護ネットを張り、第三者への対策が講じられていた。
契約額	391,050千円（税込）	4. 削孔機を通常のレンチを使用した人力脱着に対し、機械脱着が可能な3連クランプ式を使用することで作業員の安全性を高める取組がなされた。
工期	令和5年9月28日～令和6年7月13日	5. 自社開発した施工管理システム「法面CIM」によりアンカーワークの施工管理を行うことで、3次元モデルによるアンカータイプが確実に定着層に届いていることを3次元空間内で視覚的に確認できるなど、施工の効率化と確実性の向上のほか、将来の維持管理に活用可能な基礎データの構築が図られた。
本工事は、国営道前道後用水土地改良事業計画に基づき、法面保護工を実施するものである。		
【主要工事】 (1) アンカーエ N=108本 (2) 水抜きボーリングエ $\Sigma L=932.2\text{m}$ (3) 暗渠・管渠工 $\Sigma L=97.2\text{m}$ (4) 落石対策工 一式		
以上のことより、本工事はその成果が特に優秀で、他の模範となるものであるので、優良工事として表彰する。		

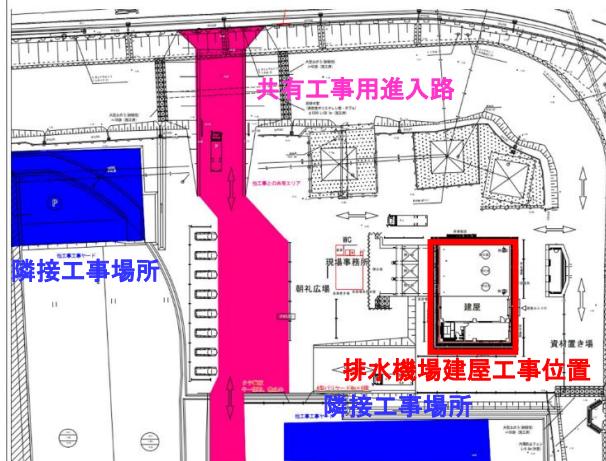
実施状況等



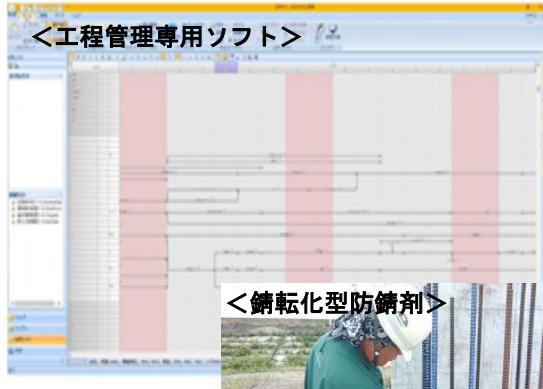
【工事】

事業名	道前平野農地整備事業	表彰の理由
工事名	北条新田排水機場建屋建築工事	1. 本工事で使用する工事用進入路は隣接工事及び市発注工事と共有されており、十分な連絡・調整が必要な工事であったが、各工事業者と工程調整を積極的に行い、工事用車両の入退場時の混雑回避等を実施し、円滑かつ安全に工事を完成させた。 2. また、受注者は、工程管理において専用ソフトを使用して、クリティカルパスの把握に努めたり、既設構造物の鉄筋の品質確保に錆転化型防錆剤による施工を行うなど、施工期間の管理・短縮を図り、4週8休（28.5%）以上の30.0%の休日を確保した。 3. 更に、除塵機側の消音器を狭い空間での維持管理を考慮して取り外して、メンテナンスができる構造を提案し、施工を行った。 4. その他、社内パトロールを本社と安全衛生委員の二班体制で2回/月実施し、より多くの視点で巡視することで、安全管理の強化・徹底を図り、工事期間において、無事故で工事を完成させた。
実施場所	愛媛県西条市北条地内	
工事の概要		
受注者	(株) 大旺	
契約額	198,000千円（税込）	
工期	令和6年2月27日～令和7年1月21日	
国営道前平野農地整備事業計画に基づき、北条新田排水機場の建屋を建築するものである。		
<p>【主要工事】</p> <p>(1) 建築工事 1棟</p> <p>1) 形式 RC構造</p> <p>2) 建築面積 A = 278m²</p> <p>3) 延床面積 A = 278m²</p> <p>(2) 電気設備工事 一式</p> <p>(3) 機械設備工事 一式</p>		
<p>以上のとおり、働き方改革や安全な施工に努めるとともに、関連工事と連絡・調整を図り円滑かつ確実に工事を実施したことは、高く評価でき、他の模範となるものがあるので、優良工事として表彰する。</p>		
実施状況等		

〈施工箇所〉



<工程管理>



〈消音器〉



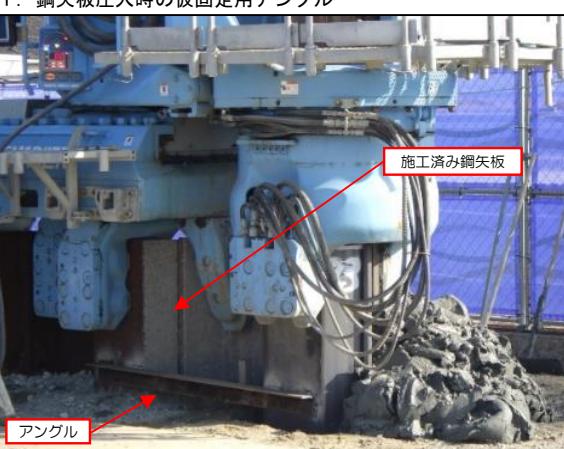
＜社内パトロール＞



【工事】

事業名	児島湾沿岸農地防災事業事業	表彰の理由
工事名	締切堤防（福島工区）その4工事	1. 硬質地盤クリア工法による鋼矢板圧入に当たって、施工済みの鋼矢板3枚を、アングルを使用して仮溶接し、固定することにより、新たに鋼矢板を圧入する際に生じる変動（中心線のズレ、沈下等）を最小限に抑制した。
実施場所	岡山県岡山市南区築港栄町地内	2. 被覆コンクリートブロック据付用の専用吊り金具及びブロック間隔保持のための鋼製当て物を製作・使用することにより、安全な施工と施工精度の向上を実現した。
工事の概要		3. 安全で効率的な作業を行うため補助クレーンを追加して配置するとともに、打設済みの鋼矢板上を自走できるクランプクレーンを使用することで、狭隘な施工ヤードでも輻輳することなく効率かつ安全な作業を行った。
受注者	アイサワ工業（株）	4. 鋼矢板継ぎ施工の添接板溶接に当たって、治具として強力な磁石を使用し、仮固定することにより、添接板落下による怪我のリスクを軽減するとともに、溶接板仮止め溶接時の感電事故を防止した。
契約額	329,835千円（税込）	5. 重機との接触は重大災害につながるため、機械周囲カメラと人検知衝突軽減システムを搭載したバックホウを使用したことにより、作業員との接触事故を防ぐことが出来き、無事故で作業完了した。
工期	令和6年4月8日～令和7年1月14日	6. 工事区域に近接する児島湾締切堤防捨石上に漂着した流木やプラスチックごみを回収・処理したことにより、漁業関係者との良好な関係の構築に寄与した。
児島湾沿岸農地防災事業計画に基づき、児島湾締切堤防福島工区における耐震化対策工事を行うものである。		7. 足守メロン祭りにて、ボランティアスタッフとして会場運営に携わり、祭りの円滑な進行に協力することで、地域農産物消費拡大に貢献した。
【主要工事】 (1) 耐震対策工 L=61.8m		以上のとおり、本工事は、現場作業における高い安全性と施工精度を向上に図る積極的な提案を行うとともに、工事区域周辺の環境への配慮を行い、的確に工事を実施したことを高く評価し、優良工事として表彰する。

実施状況等

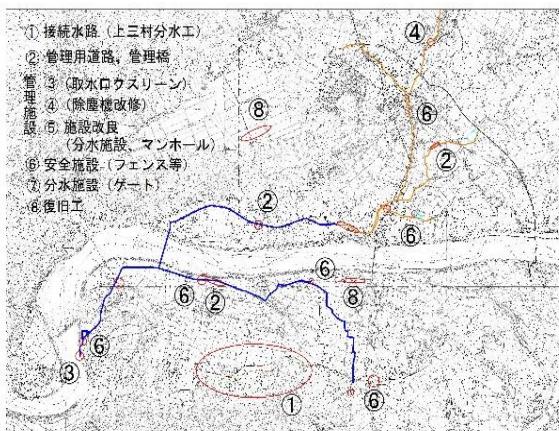
1. 鋼矢板圧入時の仮固定用アングル	2. 被覆コンクリートブロックの据付用専用吊り金具
	
3. 打設済みの鋼矢板上を自走できるクランプクレーン	2. 被覆コンクリートブロックの間隔保持用鋼製当て物
	
4. 添接板溶接時の仮固定用磁石	
	

【工事】

事業名	那賀川（二期）農地防災事業	表彰の理由
工事名	上三村分水施設整備工事	
実施場所	徳島県阿南市下大野町地先	1. 本工事は、上三村分水施設を整備するものであり、工事場所が10箇所と点在しており、管水路、管理用道路、管理施設の改修等多岐にわたる工種がある中で、各現場条件を的確に把握して適切に工程管理を行うとともに、円滑に工事を進め、所定の出来形・品質を確保した。
工事の概要		
受注者	誠建設（有）	2. 具体的には、この地域の冬季は人参栽培が盛んであり、営農が優先されることから工事用道路が設置できないため、資材運搬については、単管パイプを利用して開水路内を通行できる作業台車を組立て、作業の効率化を図った。
契約額	322,146千円（税込）	3. また、耕起されたほ場においては、営農に支障とならないよう土木シートの上に硬質プラスチック板の設置を行うことにより、作業機械の運搬時には場面に凹凸がないようにするとともに、作業機械のキャタピラ等に表土が付かないようにして表土の場外への持ち出しをなくした。
工期	令和5年7月4日～令和6年10月30日	4. さらに、地域住民の方々に工事説明会（工事内容、進捗状況）を開催して地域とのコミュニケーションの構築にも努めた。
本工事は、国営那賀川土地改良事業計画に基づき、上三村分水施設を整備するものである。		
<p>【主要工事】</p> <p>(1) 管水路工 L=1,612m (2) 原形復旧工 1式 (3) 付帯工 1式</p>		
実施状況等		

【施工状況等】

①出来形・品質確保（工事個所の点在）



② 作業台車による運搬・敷設状況



③ 硬質プラスチック板の設置状況



④ 工事説明会の開催状況

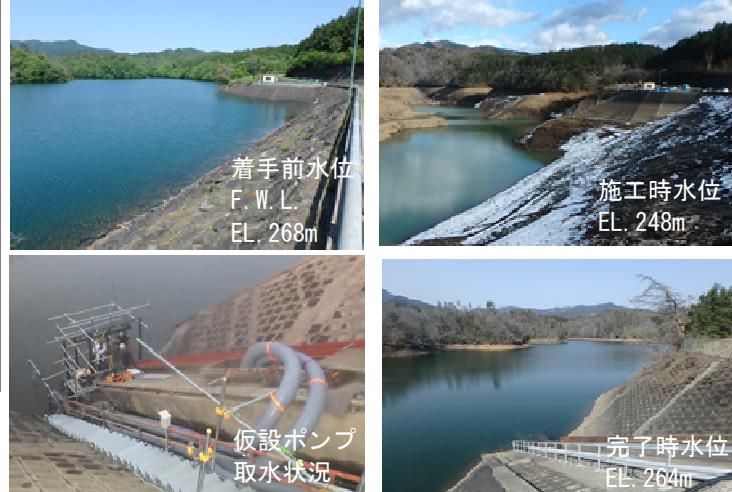
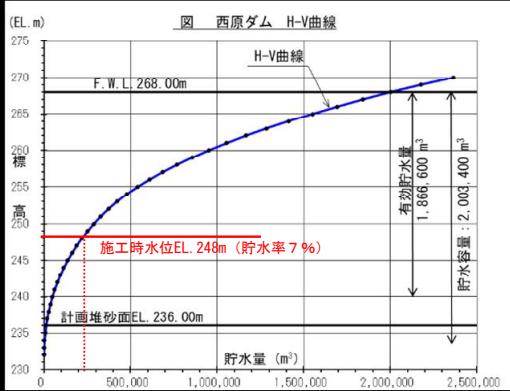


【工事】

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業	表彰の理由
工事名	(勝英地区) 西原ダム取水ゲート改修工事	
実施場所	岡山県勝田郡奈義町西原地内	
工事の概要		
受注者	丸島産業(株)	1. 施工時のダム貯水位管理 西原ダムは通年取水(農業用水、工業用水)されているが、本工事のゲート改修に当たっては、ドライ施工のために貯水率7%程度の水位まで貯水位を低下させる必要があった。本工事は、限られた貯水容量の中で下流利水者への送水量を確保すると同時に、施工時の低貯水位を維持する厳しい施工条件の中で、工程管理を適切に行い、遅延なく工事を完成させ、これにより工事後の早期のダム貯水位復帰に寄与した。
契約額	100,980千円(税込)	2. 利水関係者への情報共有 西原ダムの利水関係者に対し、Webカメラにより仮設取水ポンプ運転状況及びダム貯水位を共有し、節水への理解醸成、用水不足に対する不安払しょくに努め、円滑な工事進捗を図った。
工期	令和5年11月2日～令和7年3月25日	3. 不測の事態等への対応 貯水位の異常低下や仮設取水ポンプの故障に備え、現地に予備のポンプや発電機を常備した他、地区内の末端配管において漏水事故が発生した際は、給水タンクによる用水補給作業を行うなど、突発的に発生した事案への協力に努めた。
本工事は、国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業の一環として西原ダムの取水ゲートを改修するものである。		以上のとおり、厳しい施工条件の困難克服に努めるとともに、利水関係者への情報共有、不測の事態への対応を主体的に行つたことを高く評価し、他の模範となるものであるので、優良工事として表彰する。
【主要工事】		
(1) 水門設備	1門 SUS製スライドゲート	
(2) 鋼製付属設備	1式	
(3) 操作設備	1式	

実施状況等

1. 施工時のダム貯水位管理



2. 利水関係者への情報共有

Webカメラ画像の共有によるリアルタイム貯水位、ポンプ運転状況の共有



【業務】

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業		表彰の理由
業務名	(勝英地区) 西原ダム技術検討他業務		1. 西原ダム堤体の安全性評価に当たり、粗粒材について、低拘束圧のせん断強度を考慮した複数の手法を用いた評価を行い、西原ダム技術検討委員会資料として的確に取りまとめるなど、既設ダム堤体の安定性を從来と別の手法で評価することにより、地区的課題に対する新たなアプローチが行われた。
実施場所	岡山県勝田郡奈義町地内他		2. 西原ダム技術検討委員会において提起された新たな課題に対し、迅速かつ的確に過年度調査結果の確認及び文献調査を実施し、現状把握するとともに、今後の対応方針、検証方法を提案した。
業務の概要			
受注者	NTCコンサルタンツ(株) 中国四国支社	契約額	37,730千円(税込)
工期	令和6年6月12日～令和7年3月23日	本業務は、農業用ダムの安全性評価のため、西原ダムの耐震対策の検討及び目谷ダム等の技術検討に関する調査・設計を行うものである。	
【作業内容】			
・西原ダムの耐震検討	1式	4. 目谷ダム地下水観測に当たり、安全性評価に資する的確なデータ収集を実現するとともに、地下水観測孔の設置位置を工夫することにより、堤体への影響回避のみならず、伐採面積を最低限に抑え、生物生態系への影響軽減に努めた。	
・目谷ダム等の技術検討に関する調査・設計	1式	以上のとおり、農業用ダムの安全評価において、多岐にわたる検討課題を的確に把握し、成果を取りまとめるとともに、調査に当たって環境に配慮した取組があったことを高く評価でき、優良業務として表彰する。	

実施状況等

【検討対象位置図】



【対象施設】



【生態系への配慮】地下水観測孔設置に伴う伐採面積減着手前



【西原ダム安全性評価】

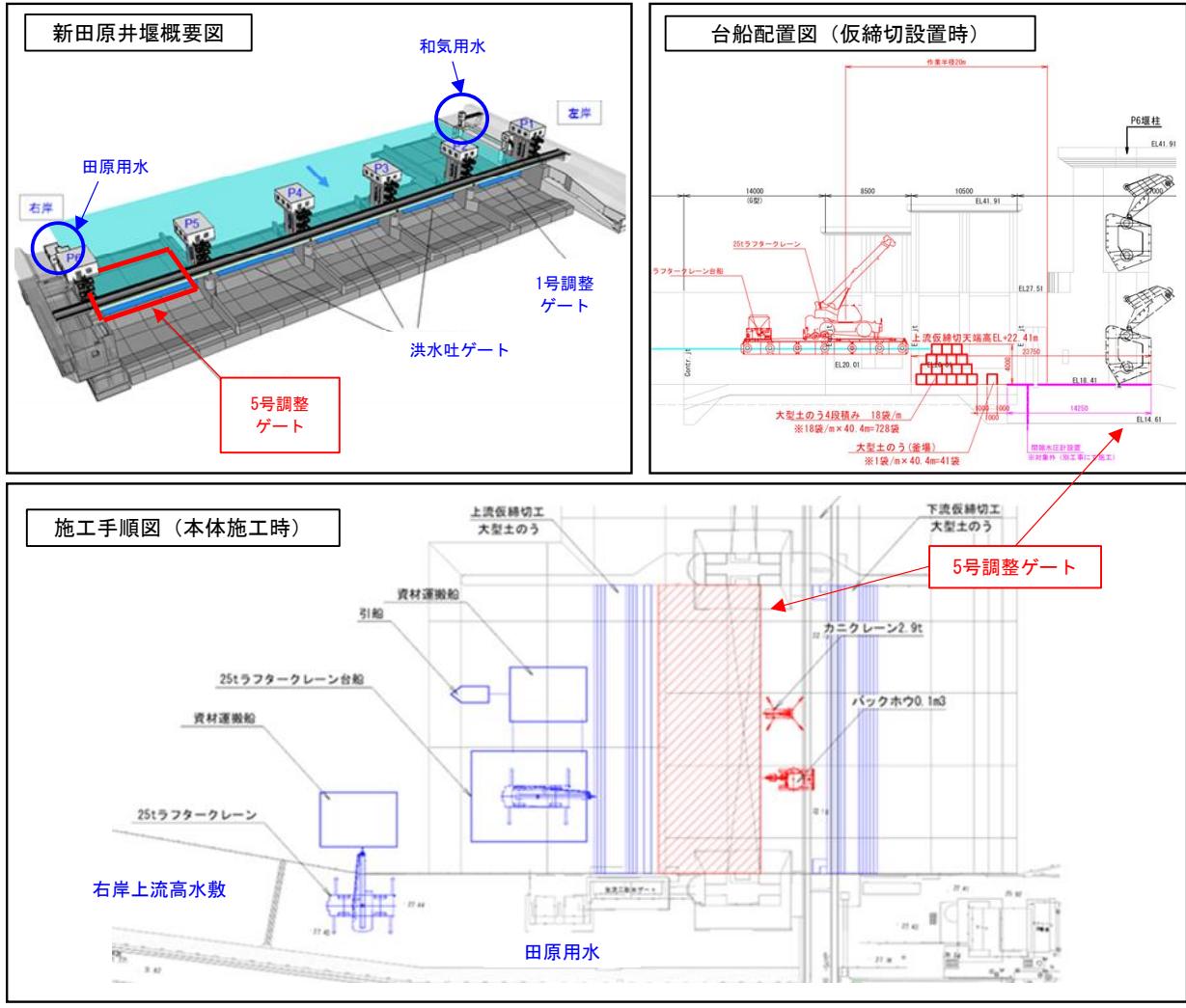
『多目的ダムの建設 設計I編』に示される、砂やロック材料の拘束圧を考慮したせん断強度による堤体安定計算結果

設計数値 検討方法	安定計算に係る 適用基準	ロック材				トランジション材				最小安全率		備考
		c(kN/m²)	φ(°)	A	b	c(kN/m²)	φ(°)	A	b	上流側	下流側	
当初設計数値	築造当時の基準 現行基準	0	42.0	—	—	0	37	—	—	1.220	1.350	>1.2
H30設計数値	現行基準	0	41.0	—	—	0	40.5	—	—	0.971	1.109	
①法	現行基準	51	41.0	—	—	34	40.5	—	—	1.280	1.633	>1.2
②法	現行基準	—	—	2.48	0.849	—	—	1.53	0.920	1.309	1.596	>1.2
③法	現行基準	0	45.7 48.4	—	—	0	42.4 44.3 45.6	—	—	1.210	1.450	>1.2

【業務】

事業名	吉井川農業水利事業	表彰の理由
業務名	新田原井堰上流施設他実施設計業務	新田原井堰上流施設の保全対策を行うためには、約200万m ³ の貯水量を有する堰の運用・管理を継続しながらの施工となる。河川内施設であり非出水期間に限られた施工スペースにおいて安全で確実な仮設計画、用水取水対策及び周辺環境に配慮した施工計画の立案を行う必要がある。
実施場所	岡山県和気郡和気町田原上地先	
業務の概要		
受注者	内外エンジニアリング（株）	1. 仮締切工及び仮排水 対策工は、5号調整ゲート部の上下流側に仮締切を設置し、ドライアップによる施工を行う必要がある。このため、上下流の水位条件を整理し設計水深を定め、仮締切の構造形式を選定し、構造計算を行うなど通常の流水作用に対して十分に安全な仮締切工の検討を行うとともに、工事中の仮排水についても河川流下量の検証を行い、1号調整ゲートの運用に対する検討がなされた。
契約額	45,870千円（税込）	2. 工事進入路 右岸上流高水敷から施工範囲までの高低差は約9mあり搬入路が大規模となる。このため、搬入路の検討及び省スペースでの施工が可能となるよう必要機械を選定するとともに、台船の搬入位置となる高水敷擁壁の安定計算を行うなど適切な仮設計画の検討がなされた。
工期	令和5年8月31日～令和6年6月30日	3. 用水取水対策 施工期間中に貯水位を下げるため、関係用水の取水対策を検討する必要がある。このため、取水実績から経済性の比較を行い、各用水で最適な取水方法の検討を行うとともに、渇水ポンプの運転運用を整理し安定供給が可能となるよう検討がなされた。
本業務は、国営吉井川土地改良事業計画に基づき、新田原井堰上流施設整備を行うための実施設計及び施工計画の検討を行うものである。		
【作業内容】 新田原井堰上流施設実施設計 1式		
以上のことより、堰の運用・管理を理解した上で、高い専門技術を基に安全で確実な施工計画が作成され、問題なく工事が完了したことは高く評価でき、優良業務として表彰する。		

実施状況等



【業務】

事業名	道前平野農地整備事業	表彰の理由
業務名	古田団地区画割設計その他業務	ほ場整備の実施において、換地計画原案を作成することとなるが、その基となる骨格図を作成する必要がある。その骨格図作成に向けて、地区外農地や上下流地区の用排水系統に支障をきたさないよう、道路・用水路及び排水路を計画的に配置することが重要となる。
実施場所	愛媛県西条市丹原町古田及び池田地内	このため、本業務において地区の代表であるほ場整備委員会の委員に対し地区外農地や上下流地区の用排水系統等に関する情報を聞き取り調査を実施し、また、骨格図について委員会に説明し承諾を得るための資料作成を実施した。具体的には、 1. 骨格図作成にあたり、受注者の希望により午後7時から9時頃まで開催されたほ場整備委員会全て（全7回）に参加し、委員からの要望や意見を直接確認を行った。 2. 現地踏査に向けて、熱中症対策から、現地踏査を2日間に開催するなど委員への配慮を行い効率の良いルートを検討し、委員からの意見や要望について的確に把握し、さらには区画整理後の営農に向けた効率的な提案などを行った。 3. 骨格図について、委員の理解を深めるため、傾斜のある区域（9ha）について3次元測量を行い、3次元により計画図を作成し簡易的な動画にして委員への説明に活用を行った。
業務の概要		
受注者	(株) チェリーコンサルタント	
契約額	24,035千円（税込）	
工期	令和6年5月23日～令和7年3月26日	
本業務は、道前平野農地整備事業の工事実施に利用するための基準点、水準点等の設置及び古田団地ほ場整備の区画割設計を行うものである。		
【作業内容】		
1 测量業務		
・ 2級基準点測量	N=9点	
・ 4級水準測量	L=9.8km	
・ 全筆水準測量	N=2,089点	
・ UAV3次元測量	A=16ha	
2 設計業務		
・ ほ場整備基本設計	A=38ha	
・ ほ場整備実施設計	A=38ha	
・ 3次元設計	A=9ha	

実施状況等

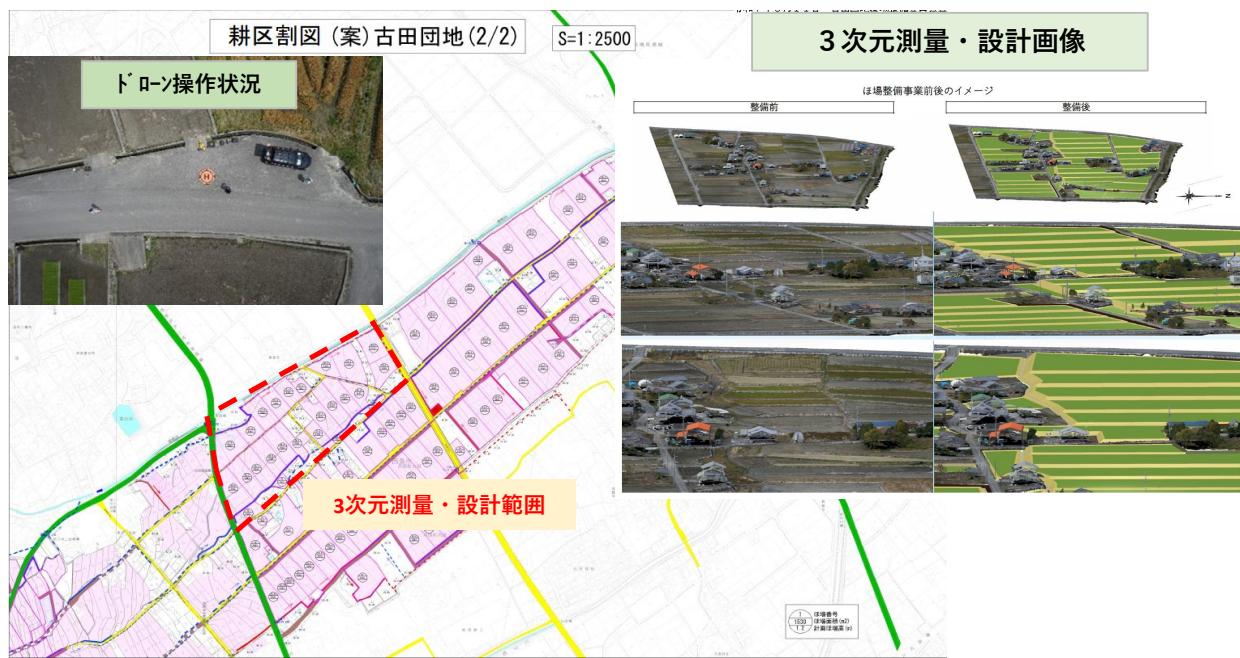
<ほ場整備委員会状況>



<現地踏査状況>



<3次元測量・設計>



【地域貢献活動（地域農産物消費拡大等活動）】

事業名	吉野川下流域農地防災事業	表彰の理由
工事名	旧吉野川揚水機場建屋建築工事	1. 令和5年に日本フードシフトの推進パートナー登録を行い、地域特産物の販路拡大を通じて、国産農産物への転換（シフト）に取り組む。
実施場所	徳島県板野郡板野町西中富地内	2. 本社所在地である阿波市にある企業（土柱ランド新温泉）が開発した、国産小麦（香川県讃岐もち麦「ダイシモチ」）を使用した土柱麺（H27から販売）について消費拡大協定を締結
受注者	佐々木建設（株）	3. グループ内企業の住宅展示場での展示・販売を行い土柱麺をPR
活動の概要		4. 安全大会等を活用し、関係企業へのPR活動を実施、社員・家族等を通じたブランドの浸透・消費拡大に取り組む。
令和5年から、農林水産省が推進する日本フードシフトの推進パートナーとして、管内農産物（ダイシモチ）を使用した地域特産物（土柱麺）を開発した第三者（有限会社 土柱ランド新温泉）と連携し、積極的に地域農産物拡大に向けた広報活動に取り組んでいる。		以上のとおり、農林水産省が推進する日本フードシフトの推進パートナーとして、管内特産物（もち麦（ダイシモチ））を使用した地域特産物（土柱麺）を開発した第三者（有限会社 土柱ランド新温泉）と連携して、地域農産物（加工品）消費拡大に向けて複数の広報活動に積極的に取り組んでいることを高く評価し、地域貢献活動として表彰する。

活動状況等



【土柱麺：香川県産もち麦を使用】
(世界三大奇勝 阿波の土柱に由来)



【消費拡大応援に関する協定書の締結】
(フードシフトロゴも掲示)



【住宅販売展示場でのPR（販売・展示）】
(フードシフトロゴも掲示)



【安全大会での関係企業へのPR】